

▽▲組合本部活動だより▲▽

《国際部》 NSU 定期大会

2022年9月、松浦満晴組合長と池谷義之国際局長は^{※1}NSUから招待を受け、ノルウェー・トロムソで開催されたNSU定期大会に来賓として参加した。大会においては、NSUの活動報告などが承認されるとともに、向こう4年間の活動方針について積極的な議論が行われ、その後の役員選挙を経て成功裡に大会を終えた。2014年から委員長を務めたジョニー・ハンセンNSU委員長が勇退し、後任にはカート・エンジェル氏が新たな委員長として選任され、NSUを率いていくこととなった

NSUは^{※2}アジア船員サミット開催時に合せて^{※3}NASCOを開催している。ノルウェーのNSUと^{※4}NMOF、^{※5}NUMEはこの会議を「アジアの船員組合と意見交換ができる重要な場」と位置付けており、アジア船員サミットとNASCOを開催する際には、本組合と合同事務局を立ち上げてこれらの会議開催準備から会議運営を行っている。

ITF内の活動についても、NSUは^{※6}ITFメキシコシティポリシーを堅持する活動や、水産ポリシーの策定などについて、本組合をはじめとする他の主要受益船主国、船員供給国、漁船船員組合と連携し取り組んでいる。

今大会で勇退されるジョニー委員長からは「これまでの取り組みを後任のカート委員長に託したい」として、これまでの連携に対し謝意が伝えられた。また、カート新委員長からは「JSUとNSUの友好関係は堅固で、これまでの活動を踏襲する形でJSUとの関係を継続していく」と表明。

北極圏に位置するトロムソの9月末は極寒であったが、熱いメッセージを頂き寒さが和らいだ。今後も国際連帯活動を継続していく。

「海員だより」

※1：ノルウェー船員組合。ITF加盟組合の中でも主要な受益船主国組合として、また、欧州域内において商業捕鯨も行っている漁船船員組合。

本組合とは国際連帯活動を通じ長きにわたり友好関係を継続してきた。

※2：全日本海員組合が提唱し設置、毎年1回開催。

(新型コロナウイルス感染症の影響で2020年から中断している)

※3：ノルウェー・アジア船員委員会

※4：ノルウェー船舶職員組合

※5：ノルウェー機関士組合

※6：FOC船に乗り組む船員の最低基準を定めるというITFの方針のこと